

## 産業建設常任委員会審査概要報告書

委員長 山上 尊士

- I 開催年月日 令和 8 年 4 月 20 日 (月)
- II 会議時間 午後 1 時 00 分～午後 1 時 25 分
- III 出席委員等 [出席委員] ◎山上 尊士 ○酒井 善広 水越 進一  
塚本 政彦 林 貴文 福井 直樹  
筏井 哲治 曾田 康司  
(◎…委員長 ○…副委員長)
- [議長] ※曾田 康司 議長は委員として出席
- [副議長] 中村 清志
- [説明員] 別紙名簿のとおり
- [委員外議員] 八田 一弥 山野井拓也 植野 佳奈  
田中 勝文
- [事務局職員] 松本 武司 竹田 裕子 戸成 秀徳
- [傍聴者] 1 名

### IV 審査の概要

#### 1 報告事項について

〈 当局から、次の報告・説明があった。 〉

[産業振興部]

- 企業誘致戦略アドバイザーの起用について

〈 委員から、次のとおり質疑等があった。 〉

(以下、質疑・質問内容は ○、答弁内容は △ で表示)

#### 【企業誘致戦略アドバイザーの起用について】

- 戦略アドバイザーの起用にあたり、具体的な目標値と評価指標は。
- △ 目標値や評価指標については、現時点ではまだ現状の分析ができていないことから、今後、どのような形で進めていくかを検討していきたい。本事業は、総務省のアドバイザー制度を活用しており、3年間の特別交付税の対象となっているため、必要に応じて令和9年度以降の継続も視野に入れて進めていきたい。

- アドバイザーの具体的な仕事と進め方は。
- △ 月に1回程度、本市にお越しいただくことを想定しており、話をしながら進めていく。
- 新規事業のため、これから話を進めて決めていくと思うが、成果に対する評価指標がなければ結果を出すのは難しいと考えるため、ぜひ取り入れていただきたい。(要望)

## 2 その他

- 次回の本委員会の開催について  
令和8年5月22日(金)午前10時に開催することが報告された。

〈 委員から、次のとおり質疑があった。 〉

### 【液状化の再発防止について】

- 液状化の再発防止に向けて、開発行為の今後の考え方は。
- △ 開発行為を行う際、都市計画法では、地盤の沈下、崖崩れなどによる災害を防止するため、地盤の改良など、安全上必要な措置を講じることとされているが、その基準は液状化を念頭に置いたものではない。しかしながら、本市としては、液状化発生の防止軽減のためには、液状化被害発生の可能性把握に努めるとともに、必要に応じて、液状化対策を講じることが望ましいと考えている。このため本市では、宅地開発の留意点として、国が示す宅地の液状化被害可能性判定にかかる技術指針や、液状化しやすいマップをホームページに掲載し、窓口においても、宅地開発業者に紹介するなど、液状化対策の重要性を周知しているところである。今後は、高岡市開発指導要綱にも同様の趣旨を規定したいと考えている。あわせて、過去に液状化被害を受けた都市においても、開発行為にあたり、液状化対策についてどのような指導がなされているのか、引き続き注視していきたい。
- できる限りの防止策について、知恵を絞って工夫していただきたい。(要望)

### 【道路等の管理について】

- 除雪に伴う道路や構造物の損壊といったトラブルの発生状況と、修繕等の対応状況は。
- △ 道路や構造物の損壊は約180件発生しており、修繕はすべて依頼済みで、約40件は修繕を完了している。おおむね令和8年6月までに8割は復旧する予定であり、残りの2割はそれ以降になる見込みである。
- 自転車の安全な走行のため、路肩の砂利や雑草等の除去をすべきと考えるが、見解は。
- △ 自転車を利用する方のために、道路の路肩部分の管理は必要であると認識している。路肩の砂利の除去は人力では困難であり、路面清掃車による作業を行っている。路面清掃車による作業は専門業者に委託しており、雪解け後に主要な道路を対象に撤去を行い、8年5月末には完了する予定となっている。雑草については、業務委託のほか、地域の方々に協力していただき除去している状況である。地域では困難な路線につ

いては、市で除去している。自転車の安全な走行のために、地域の協力を得ながら、市役所としても適切な管理に努めていきたい。

- 街路樹が車道側に飛び出ており、自転車を利用する方にとって危険であるので、こうした点も注意していただきたい。(要望)

#### 【工業団地造成について】

- 4月11日に新聞報道のあった新たな工業団地造成に向けた本市の考えは。
- △ まずは市街化区域への編入が1日でも早く実現できるよう取り組んでいきたいと考えている。その上で質問の件については、現時点では何も決まっていない。工業用地の開発については、民間で行うケースや市で行うケースなど様々な手法があり、地元の方や地権者の方がおられることから、関係の方々と話をしながら進められるべきものであると考えている。いずれにしても、市としては地域経済の活性化と雇用の創出に向けて、企業誘致を積極的に推進していきたいと考えており、1日でも早く実現するよう対応していきたいと考えている。
- アドバイザーの活用も含めて、力を合わせて企業誘致に取り組んでいただきたい。(要望)

〈 当局から、次の報告・説明があった。 〉

#### 〔産業振興部〕

- (1) 「2026 高校生向け企業フェア in たかおか」の開催について
- (2) 祭り・イベントの開催について

〈 委員から、次のとおり質疑があった。 〉

#### 【祭り・イベントの開催について】

- 高岡獅子舞大競演会について、本市の大人の参加団体が少なくなっている印象があるが、参加等について、どのような形でPRしているのか。
- △ 今回は、20 団体以上に声をかけたが、結果的に射水市の団体が多くなった。従来、高岡市内から何団体、市外から何団体といった形で、バランスを見ながら声をかけている。今年度については、高岡市内の各種団体にも声をかけたが、各団体の事情もあり少なくなった。本市は、県西部地域の拠点として、特にゴールデンウィーク中は、様々な地域で祭りがあり、多くの観光客にお越しいただいている。これからも高岡の拠点性を活かした祭りのあり方を意識していきたい。

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

産業建設常任委員会 当局説明員（28名）

産業振興部長	長久 洋樹	都市創造部長	山森 久史
産業振興部次長	須田 稔彦	都市創造部次長	渡辺 昌樹
産業振興部次長	大野 洋靖	都市創造部次長 都市計画課長	中出 裕嗣
産業企画課長	布橋 みちる	都市創造部技術政策監 震災復旧推進課長	橘 篤志
商業雇用課長	澤田 剛章	景観みどり課長	河合 功治
観光交流課長	野村 岳人	道路整備課長	田口 昌子
農業水産課長	小林 新平	土木維持課長	中澤 俊一
農地林務課長	横山 太一	建築政策課長	氷見 和人
みなと振興課長	水上 暁	営繕課長	井林 哲雄
地域振興交流課長	有栖 友広	福岡駅前土地区画整理推進室長	大井 孝弘
農業委員会事務局長（併任）	大野 洋靖	上下水道事業管理者	二塚 英克
		上下水道局長	寺井 義則
		上下水道局次長 総務課長	亀岡 勝彦
		上下水道局参事	熊本 敬二
		営業課長	片岡 利行
		水道工務課長	上蓑 憲男
		下水道工務課長	高林 隆
		施設維持課長	村栄 正英